(1)　日刊（除月曜）　昭和21年6月1日 第三種郵便物認可　昭和24年2月23日 運輸省特別扱承認第238号　いわき民報　昭和26年6月13日（水曜日）第1552号

夕刊
いわき民報
発行所
平市田町 電176 381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原登

眼を護る新聞
読み易い活字　鮮明な印刷
いわき民報はみなさまの眼を護る郷土唯一の扁平活字採用紙です　御購読をおすすめします　お申込は直接本社へ!!

六十六年間採掘可能
埋藏炭八億トン
第一次調査の中間發表

平石炭事務所では昭和二十五年度から五カ年計画で着手した管内埋蔵炭量調査の第一次調査の中間発表を十二日行つた、第一次調査は二十五年四月一日現在に基くもので常磐炭田は九百五十平方キロ米のうち鉱業権者又は租鉱権者の申告による百二十九件、三百五十鉱区五百八十七平方キロ米のうち三百五十七平方キロ米（全体の三十六％）に就いて同事務所開発課が昨年九月から本年二月まで徹夜作業で集計したもの

常磐炭田の三十六％に当るこの調査結果によれば採掘可能埋蔵炭量は第一種（深度六百米迄）の確定量三億三千七百六十四万三千トンでその実収炭量は二億四千六十七万二千トン、第二種（六百米以下）の確定が千五百三十万一千トンで結局第一種、第二種を含み確定の外に推定、予想炭量をたえた合計が八億一千七十六万五千トン、以上の点から実収炭量は年間三百六十万トンの出炭とみて常磐炭田は自今六十六年は大丈夫だがこの数字は炭田の三十六％の調査対象だから他の部分を調査した結果や将来に於て推定炭量が確定となる点も考えられるのでまだく常磐炭田の寿命を考究する必要はないワケだ、なお家宅、鉄道、河川の地下で採掘出来ない埋蔵量が確定推定予想炭量の合計四億一千五百六十二万トンとなつており結局採掘可能埋蔵炭量（理論の採埋蔵炭量という）と不可掘埋蔵炭量との合計が八億五千二百九十二万七千トンとなつており全国では百五十五億一千八百八十九万一千トンの膨大な数字に上つてる

錦町會開く

錦町では十一日町会を招集し二十六年度の町税徴収に関する町条例制定を主趣に審議した結果一部算定額修正し殆ど原案通り可決、更に共立病院の委員には議長の近藤初太郎氏、都市計画委員には近藤初太郎、藤原重正両氏が選任、固定資産評価委員に町長高木武一郎氏が選任

小名濱町會
十四日開く

小名浜臨時町会は十四日午前九時から開き次の議案を附議する

▼町税条例改正▼消防職員定数条例設定▼消防職員任免、服務等に関する条例設定▼建物買収▼貨物自動車購入▼土地買収

なお町税条例改正に関し十三日九時から町議協議会を開く

追放解除
永山氏ら十三氏も

平市の追放解除者は昨報の外左の十三氏である

【国家主義団体】永山勇吉（振運社）水野隆介（やまとむすび支部主幹）

【正規軍人】金成角雄（海軍大尉）田村富倍（同大尉）高木正武（同少尉）松本英一（陸軍少尉）佐藤充夫（同少尉）篠原隆次（海軍少尉）高野立雄（陸軍中尉）菅波忠（同大尉）鈴木美津雄（同中尉）永山慤（海軍大尉）門馬秀行（陸軍中尉）

本縣案強く主張
サンマ漁規則案を協議

サンマ漁業取締規則に関する協議会は十一日午後一時から県水試会議室に本県側関係者六十余名と茨城県側各地区協組代表五名が出席し水産庁作製の次の規則要綱の検討を行つた

一、現行規則では総トン数一〇トン未満の漁船による『さんま漁業』は規則の適用を除外しているが今後は漁船を使用して『さんま』を捕る漁業を規則の対象とする

二、七〇トン以上の漁船による『さんま漁業』を禁止する

三、適用海域は現行通り

四、解禁日は原則として十月一日とするが海況、漁況に応じ変更し得ることとする

五、終漁日は原則として十二月十五日とするが資源保護上必要ある場合又は農林大臣があらかじめ定める数量に達した場合は終漁日を繰上げる

六、禁漁期中は水揚を禁止する但し輸送証明書を保持する場合はこの限りでない

七、出漁証明書制度をとる

八、水揚港を指定する

九、北海道に於ては禁漁期中左記内容の特例の措置をとることができることとする

（イ）知事の許可漁業とする

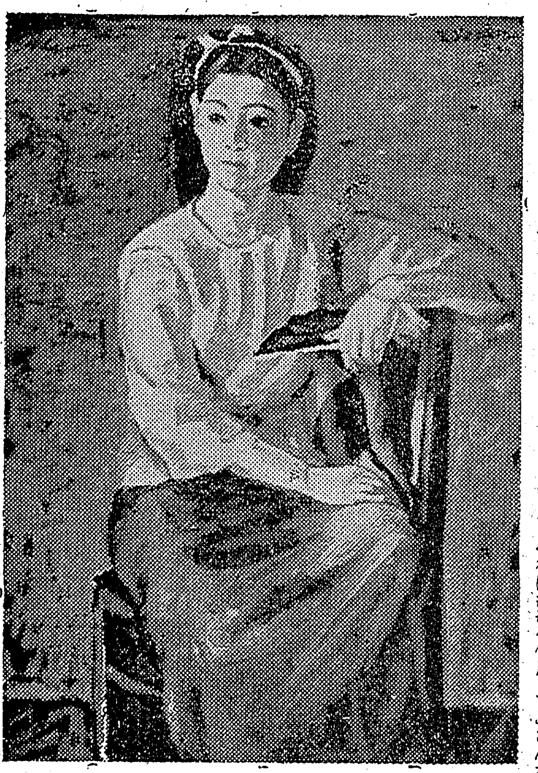
原則（ロ）として二〇トン未満の漁船に限る

（ハ）八月十五日よりさかのぼることを禁ずる

（ニ）本措置による操業期間については資源保護上必要ある場合又は農林大臣があらかじめ定める数量に達した場合は許可の期間を繰上げる

十、北海道を除く都府県に於ては海況、漁況に応じて二〇トン未満の漁船による操業を一月三十一日まで認めることがある

この結果先ず、二の七〇トン以上漁船のさんま漁禁止は反対であり次いで三、四の解禁日の十月一日を九月十五日に、また終漁日の十二月十五日を同月三十一日までにそれぞれ期間を拡げて欲しい、また九のイ項目にある『二〇トン未満の漁船に限る』を『二〇トン未満に更にハの『八月十五日よりさかのぼることを禁ず』とあるのを『九月一日』と訂正して欲しい等の意見が出され種々協議した結果、前記五項目に対しては福島、茨城両県ともに反対であることを水産庁に提示するとともに若し両県の案が認められない場合は水産庁試案を無視しても両県の独自の見解で操漁することなどを申し合せて午後四時半終了した



黒扇

小川村吉田富美画伯が過般開いた第廿七回光風会展覧会に出品した油絵『黒扇』が見事入選した、同画伯は美校出身（写真はその作品）

"まだい"千貫水揚げ

小名浜町栄町丸高漁業部大敷網は『まだい』千貫を小名浜魚市場に十一日午後四時半水揚げした、これは本年最高の『まだい』漁獲で一尾当りの目廻り七、八百匁もあり浜相場は貫当り五百円、主に東京方面へ鮮魚のまま出荷された

郡連PTA
會長に安田氏

石城郡連合PTA会は十日午前十時から平一小に開き役員の改選を行い会長安田善一（小名浜）副会長金成源右衛門（錦）渡辺三平（内郷）の三氏を選任した

競輪最終日

第五回平競輪最終日の十二日は朝からつゆ模様の天候のためか入場者は賑わず午前十一時現在で三百八名だが入員に比べて売り上げは多く一レース七万七千円、二レース十五万五千円計二十三万四千円午前中穴はなかつた、なお三日目の十一日は入場者千四百四十一名で総売り上げ三百七十万四百円で大穴はなくわずかに四レースの連に二千四百七十円、十レースの連に千六百七十円の中穴があつただけ

野球と排球
あす大會

石城郡下中学校野球、排球競技大会は第一支会主催（植田中）の下に十三日八時より左記会場に於て争覇の幕は切つて落される

野球　第一会場植田中
同　第二会場植田小
排球　第三会場錦中

クーポン券で横領
三坂の米屋を送検

三阪村三百余世帯にわたる主食配給クーポン券不配の騒ぎについて平地区署では取扱者の同村中三阪米穀商佐藤辰美（四〇）を召喚取調べていたが去る四月中旬頃沢渡村下市谷主食配給所榊原トシ江（四五）へ押麦五俵（一俵四五キロ入）九千円相当、沢渡村下市谷主食配給所草野主（五〇）へ押麦十俵一万八千円相当、乾麺一箱四十八束入四千二百九十円相当、計三万二千二百九十円相当の小麦乾麺引換クーポン券をそれぞれ貸渡し更に一月から四月までの間に三阪村中三阪瓦製造業中村源造外六名から精米二十キロ、モチ米二十キロ、麦白三十五キロの配給分を米通帳には配給したことに書き入れて横領し、二月二十七日三阪村中三阪字湯向中三阪開拓組合理事荒川魁（四二）外十四名から配給分を供出へ入れ換える手続きを依頼されウルチ米四百二十キロ、精米七俵計二万千六百三十円相当を供出したと偽り此の外一万五千四百五十円相当を夫々業務上の横領をした疑いが明となり十日平地区署から書類送検された

高壓線千米
切斷盗まる

内郷町大字綴字沼尻常磐炭鉱住吉変電所から平市飯野字上荒川堤間に敷設されてある住吉変電所々有の二・六ミリ高圧送電線千米一百貫（十三万円相当）―を切断、盗まれているのを十一日午後三時半ころ発見

ケーブル線泥

勿来町大字酒井字出蔵二〇炭鉱夫吉田義家（三二）は去月二十二日午後十一時半ころ大日本炭鉱勿来炭鉱構内の作業現場から高圧電気用ケーブル線三十貫（三万円相当）を盗んで十二日勿来町署から書類送検された

貸出文庫増設

平市役所内ライブラリーでは貸出文庫四函が増設された、今度のは映画化の『少年期』波多野勤子著ジイドの日記外八十冊で十二日から貸出しする

鐵管泥

内郷町宮学金坂日雇土工大谷繁司（三二）は去月二十五日午後零時三十分ごろ同町宮地内常磐炭鉱住吉一坑機電倉庫附近から鉄管二コ千六百円相当を盗み十一日内郷町署へ

訂正 十日附江名鉄道の『重役陣』の記事中取締役金成文は金成文平、作山三郎は作山源三郎の誤り並びに取締役加沢憲三郎を附加訂正します

天気予報

十二日

【今晩】北東の風はじめ曇から小雨の天気後晴る

【明日】北東の風はじめ晴次第に曇から再び天気はくずれる、海上は穏な方明日は濃霧かゝる

募集
男女契約社員
年令不問
歴持面談
平市白銀町駅前通り
株式会社
三菱殖産
平営業所

お存じですか？
皆様の　御家庭の別室
グリル三久
新日本に…唯一つのシステム
グリル三久
営利を目的としない社交室
グリル三久

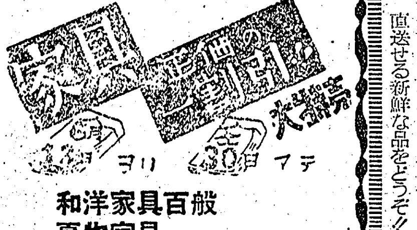
6月末が締切決算期となつていますので計算書いろは号は7月10日までに御提示下さい
会員準会員各位
デパート三久内
三久倶樂部
電（湯本）131・303

[illegible]

The JOLSON STORY
廿余曲の歌・アル・ジョルスン吹込
ジョルスン物語
コロンビア
総天然色
超大作
ラリイ・パークス　主演
イヴリン　キース
アメリカの最も偉大なる歌手ジョルスンの波瀾絢爛の一代を描くハリウッド最大の音楽映画!

聚樂館
好評!!　15日まで上映中

陳列場落成一周年記念



和洋家具百般
夏物家具
平市新川町 電464
伊東家具店
工場 平市大町 伊東工業KK

◇開店◇
皆様の御推奨により
雪印バター姉妹品
雪印アイスクリーム
品川工場より冷蔵自動車にて直送せる新鮮な品をどうぞ!!
平市平和通り
マルサ

セトモノ
記念品　標札　名入焼付
御注文に応じ迅速御調製致します
湯本町裏町
龜屋陶器店

初夏の味覚!!
生ビール
中華料理
トンカツ
天ぷら
平市中央通 電一二三八
東龍軒

住宅金融公庫受付開始
一、住宅建築資金を貸出し致します
一、取扱期間　六月十一日より六月三十日まで
一、取扱店　福島無尽平支店並に同社各支店
一、融資条件其の他手続きは福島無尽へお尋ね下さい
契約社員募集
一、自由勤務　副業にても可、身元確実なるもの
一、条件その他委細面談
福島無盡平支店

平の大黒屋
晴雨兼用
傘　百選會
6月11－17日
店頭ウインドウにてお好み投票会を開催中です
六月の催物

十三塚に就て

根本忠孝

十三塚に関しては民俗学の大家柳田国男先生が其著『十三塚考』に

此奇妙な名の塚が全国に築かれた時代があつた。その塚の現にその名の如く十三個、村境や丘の上に完全に保存せられてゐるもの幾つかはある。一部分は破れ崩れ去つたが、猶は数個を残すもの、若しくは地名となつて僅かに其過去の存在を示すものに到つては、既に二百ケ処を超えている。五十戸百戸の村人達が、古墳といつても、そうかと思う程大懸りなまん頭形の土壇を十三も村はづれの一角や峠の頂などに、築いた動機や目的は尋常一様のものではなかつたろうに、もうそれ等は一切分らなくなつて、僅かに数種類に仕分けられる伝説だけが、幽に村人に此塚の所在を記おくせしめる状態である。

と述べている。

この十三塚なるものは如何なる信仰により、如何なる意味合によつて築かれたものであつたろうかわが福島県下で知られている十三塚は、『白河古事考』或は『白河風土記』にも記されている西白河郡古関村の十三原もそれであり、南会津郡大宮村大字新田の十三仏塚もそれであり、石川郡沢田村大字沢井字十三塚もそれで知られている。

そして未だ世間には宣伝されていないが本郡川前村大字下桶売字矢田谷地の十三塚も確にこれに類するものであることは論を俟たない。この矢田谷地の十三塚は旧幕時代の村境、即ち下桶売村と上桶売村の境にあつて下桶売の領分字矢田谷地に属し、旧来の通行路の傍ら自然の一丘陵が十三塚と呼ばれている地名である。

この丘陵は現在一基の墓石が残されているのみであるが、碑面の文字は風化作用で磨滅し読むことが出来ない。伝説では僧侶の墓標であつたといわれている。墓標の建つている前は傾斜になつていて現在は開墾されて畑に化しているが、十三塚とは何も関係のない石器時代の遺跡で縄文土器の破片や石器が発見されている。この十三塚と呼ばれている丘陵は今以て地方人には一種の聖地の如く考えられ、犯せば何か祟があると口碑に残されていて此の塚のいん滅を防いでいてくれる。

それにしても、未だかつて古来よりの地方誌に一筆なりとも、その由来も教理も説かれて無いのは不思議でなければならぬ。何人が何に基いて一基の墓石しか建つていない此の丘陵を十三塚と命名したのか。全国的に分布している二百数十個所の十三塚と関連しているのか無いのか、柳田先生の著書には今迄のところ本県下では西白河郡古関村の十三原と南会津郡大宮村大字新田の十三仏塚と石川郡沢田村大字沢井字十三塚が私の関心から石城郡川前村大字下桶売字矢田谷地の十三塚の四例となつた楽しい発見を民俗学研究に携わる諸賢に告げて置きたい。

この稿を終るに当つて、われわれ国民の歴史には許多の空白が残つて居ることはこれ等の十三塚の如くたゞ名称とこん跡とより他にこれを考察するに足掛りの無いものがある事に気付かるゝであろう斯る問題はその結論が早急に得られないにしても、将来の新らしい資料の発見と研究の累積によつて吾が信仰史上の疑問を解明する曉に到達する時期もあろう。

（昭和廿六年五月二五日稿）

保安部と無線通信所
あす落成式擧行
關係官民二百名を招待

小名浜海上保安部庁舎並に同無線通信所落成式は十三日午後一時から同町字栄町小名浜港務所構内の新庁舎に第二管区海上保安本部から西沢本部長を始め地元選出代議士、県議、県下各漁業協組、水難救護会関係者など二百名を招き挙行する、新庁舎は敷地百四十坪、建八十坪木造平屋、クリーム色のモルタル建築で部長室、司令室、事務室、取調室、無線室、電池室など八室からなり、無線通信所の設備費を加えると約千五百万円も投じてある、請負者は小名浜町定西小原工務所（小原松之助氏）

海上警備陣容を强化

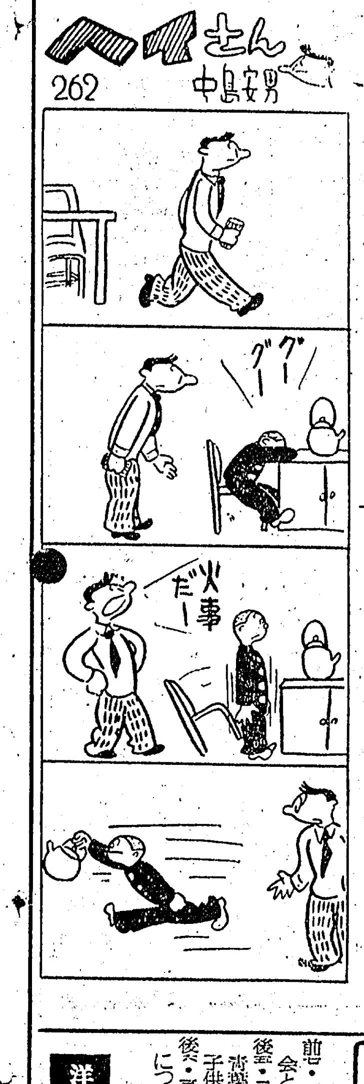
新庁舎の落成を見た小名浜海上保安部ではいよく待望の無線施設も完備、更に今秋には二百七十トン巡視船『もがみ』も配属になるので一層陣容は強化されることになつた、また現在の警救、検査両課のほかに監理課（庶務、会計、船舶）も新設される予定で無線通信所と併せると現在十三名の部員が二十名以上に増員されることにもなつている、また従来漁業無線をのぞいては沖合に出た巡視船と連絡するには塩釜海上保安本部を経由しなければならなかつた不便が無線通信所の新設に依つて直ちに同所から情報連絡することが出来ることになつたことが大きな改善だが、平時は同部所属巡視船『うづら』（百三十ト）との移動通信及び塩釜の同本部との固定通信に用いられることになつている、同通信所はMS—七十一号長中波スーパー受信機一台（四メガサイクル）MS—八十四号短波スーパー受信機一台（二十五メガサイクMS—二十一号送受信機一台（三千六百六十五KC）電源主電交流百ボルト及び自立式アンテナ四条高さ二十米の鉄塔二基を装置するので二千マイル沖合の船舶と連絡することも可能で今後の警備救難には完璧を期することが出来ることになつた

小名浜海上保安部遠山部長談—懸案の新庁舎並に無線通信所の落成に当り二百七十トン巡視船の配属が決つたのは実に力強い限りで優秀巡視船と優秀な通信施設の完備が出来ることは海難救助並に保安業務遂行上誠に喜びに耐えない、今後はこれが使命達成のためますく努力したいと思う

海上保安協会福島県支部三代義勝支部長談—今回第二管区海上保安本部管下小名浜海上保安部が庁舎及無線局の新装なつて名部長たる遠山武夫氏を総師として堂々たる威容のもと船出する事になつた、吾人は従来機会ある毎に保安部機構の拡充強化、海難救助用無線局の併設、二七〇ト型最新鋭巡視船の配属を要望して参つたのであるが大型船今秋配属決定の報で何れも其の目的を達成出来得る事は時局柄誠に喜ばしい、今後は本支部としての懸案である巡視船乗員に対する陸上施設及福利厚生事業に全力を傾注以つて海上保安の万全を期したいと思う

天氣豫報信號塔竣工式
來る十六日に擧行

小名浜測候所では同所構内に建立した天気予報信号塔（高さ二十七米鉄製）竣工式を十六日午前十時らか小名浜漁業協同組合楼上で挙行する


ヘイさん
262
中島好男
グーグー
火事だー

体操講習會
十五、六日

植田方部の新しい学校体操講習会は十五、十六の両日午前九時から植田小学校で開く、講師は県教委石城出張所保健体育主事草野仁氏

十月の賃上げ闘争
磐炭労組織强化へ

磐炭労では、十月の賃金値上交渉を開始する準備として、地方選挙後、中だるみとなつた労働運動を組織強化、労働戦線統一の二方針のもとに体制を整えることになり今月から、これらの方針を具体化して日常斗争つまり労働条件の改善向上、保安確立斗争、福利施設の完備等を計る積極的運動を展開特に七月国会に提出される労基法改悪反対斗争を今から強力に実施することになつている

なお過般の中央大会では去る一月の賃金斗争より強力にするため罷業権、統制権を中央で統一し前回通り四社共斗の線で賃金交渉を展開するが、この場合弱小労組を地区別に結集、中央の指令に基き有機的に展開することになつており、一月斗争の如くその時期にあわてる前に今からその強力な準備を整える

所得税の事
前承認申告
十五日まで

平税務署では二十六年度第一期所得税の予定申告書の提出にあたつて昨年の最終申告又は決定額より低減する場合にはその理由の事前承認申請書を十五日迄提出せねばならぬことになつているので一般納税者に要望している、その理由は廃業、休業、転換、失業等の事実の証明など

詐欺 三阪村大字差塩字江添一五六農業志賀武夫（三三）は北海道在中三月一日夜八時ころ北海道岩見沢市六条四丁目望春寮山下春吉（三三）方からオーバー一着（一万円相当）を詐取した外同寮内から五件計一万七千五百円相当を詐取したことが判り五日平地区署へ捕まつた

强姦 湯本町高倉五三磐崎鉱採炭夫三瓶好次（三〇）は四日午後八時ころ結婚のため仲介人を頼みに来た同町宝海九〇無職菅柳みどり（二一）＝仮名＝を甘言をもつて高倉地内林内に連れこんで脅迫し強姦したほか全治十日間の傷害を与えた疑で十一日湯本町署から身柄送検

傷害 平市古鍛冶町九一磐城貨物自動車平営業所運転手後藤幸作（四一）は去る五月二十日夜十時ころ自宅前を通行中の同町八八無職岩崎トシ子（三三）さんに因縁をつけ顔面を殴打左腰部をけるの暴行を働き六日平市署から書類送検

JOCP ラジオ JOHQ ローカル （13日） 郡山放送

前七・一五 あぜみち通信『農業委員会と農地委員会』

後〇・一〇 子供の時間 唱歌組曲『青葉の笛』斎藤長良 郡山放送子供会

後六・三〇 県政の窓『県税条令改正について』県税務課長黒川久雄

洋服は赤かや

祝 小名濱海上保安部廳舎・無線通信所新築落成 6月13日

建築施工者
小原工務所
小原松之助
小名浜町定西
電話六八番

電氣工事施行者
株式会社 常磐電氣工事
小名濱出張所
布施行男
小名浜町本町六四番地

海上保安協會 福島県支部
日本水難救濟會 福島県支部
支部長 三代義勝
主事 菊田敏

小名濱海上保安部
部長 遠山武夫

小名濱漁業協同組合
組合長 三代義勝

小名浜機船底曳網 漁業協同組合
組合長 田島繁夫

福島縣小名濱港務所
所長 浜田正執

小名濱引揚業者組合
小名浜町栄町
電話四八八番
千代田重機工業株式会社
金山鋼材株式会社
株式会社 岡工務店
太平洋海事株式会社

福島縣漁業協同組合連合會
会長 鈴木常松

福島県機船底曳網 漁業組合連合會
会長 吉田豊吉
専務理事 吉田健悦

福島縣鰹鮪漁業協同組合
組合長 金成徳治

福島縣定置網漁業協會
会長 斎藤誠吾

東北海運局小名濱支局
支局長 今野善久

運輸省小名濱港工事々務所
所長 渡辺義則

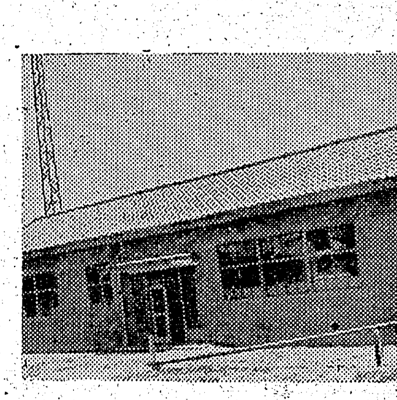
福島縣水産試驗場
場長 菅野健一

福島縣水産事務所
所長 松井ひろし

縣會議員 小野義一

高橋漁業部
小名浜港
電話一三〇番

株式会社 龜井商店
小名浜支店長 佐藤幸三
小名浜町栄町
電話二〇七番

株式会社 關彰商店
小名浜支店長 渡辺文彦
小名浜町栄町
電話三六七番